

# 予算特別委員会

令和2年度養老町一般会計予算

**問** 役場内でふるさと納税を担当する職員体制と専門部署を新設する考えは。

**答** 業務にあたる職員数は、12月から1月の繁忙期は4から5人、それ以外は概ね1人である。専門部署の新設については、特命事項推進チーム(2ページ参照)の中で全庁的に考えていきたい。

**問** 地域自治町民会議を設立する予算措置は。

**答** 養老地区が設立準備をするため、経費を計上している。

**問** 老朽化危険空家除去事業の内容は。

**答** 県の要綱を活用し、当町でも1件につき30万円を上限とする補助金を創設した。

**問** 非常備消防維持管理運営事業の見直しの内容は。

**答** 令和3年度から消防団の組織を見直し、3ブロック制にするため、小型ポンプの数についても見直すことになった。

**問** 消防団訓練事業として、とびはしこの予算額は。

**答** とびはしこの訓練費用58万8000円を予算計上している。なお、とびはしこは新入団員の加入促進の一環として活動している。

**問** 小学校の学校給食費として、牛乳の補助を廃止した理由は。

**問** 設立6年目を迎える上多度地域自治町民会議に指定管理者制度を導入する考えは。

**答** 現在、公共施設等総合管理計画の中で自治会館の必要性について議論しており、個人情報取り扱いなどの各種条件も整ったうえで可能となれば進めたい。

**問** 個人番号カードの交付率は。

**答** 令和2年1月31日現在、交付率は9・38%である。

**問** 養老町地域福祉センター(上多度地内)の今後の方針は。

**答** 上多度公民館を新設し、避難所としての必要性もなくなつたため、廃止や売却等も考えていきたい。

**問** 町の予算編成方針により、事業見直しを行ったところ、牛乳の補助は、他市町でも補助対象としているところは少なく、今回廃止することとした。

**問** 養老町レクリエーション協会立ち上げの経緯は。

**答** 県内で設立されていない市町村が、当町を含めて4市町村あり、県からの依頼で設立することとなった。現在、県のレクリエーション協会が中心になり設立の準備が進められている。

**問** 健康セミナーの内容は。

**答** ライザップに依頼し、開催場所は中央公民館中ホール、実施回数は年4回、対象者は町民全体を予定している。

**問** いわゆるサボカ補助金の内容は。

**答** 町では、県の要綱に基づいて国の補助金に上乗せし1万円を補助する。

※政府による65歳以上のドライバー交通事故防止対策の一環として、予防安全装置を備えた「対歩行者衝突被害軽減ブレーキ」や「ペダル踏み間違い急発進抑制装置」の購入等を補助する目的として補助金が交付されるもの



**問** 新しく設立される予定である私立保育園の内容は。

**答** 令和3年4月1日に開園予定(高田地内)で、未満児を対象とした小規模保育所である。認可は町で行い、具体的内容は認可の段階で決めていく。

**問** 徴収推進室の人員配置と効果は。

**答** 今年度は県税事務所に1名派遣し、1名増員となつているが、来年度も引き続き県税事務所に派遣をお願いしている。前年度の収納率より上がることを最低限の目標とし、努力している。

**問** 臨戸徴収を実施する予定は。

**答** 昨年度の夏に臨戸徴収を実施したところであるが、今年2月に町内で振り込み詐欺の未遂事件があったため、方法を十分に考えながら実施したい。



**問** 大巻と室原の県営ほ場整備事業の事業計画内容は。

**答** 大巻地区、室原小栗栖地区ともに令和2年度から2箇年で調査設計を行い、令和4年度に実施設計する。順調にいけば令和5年度から工事着手していく計画となっている。

**問** 県営ほ場整備事業の減歩の調整方法は。

**答** 仮同意聴取を行うっていく中で、事業に参加・賛同して頂ける方の意向を踏まえて整理してみないと、一般的に何%とは言いがたい。過去の他の基盤整備の数値を示させて頂いているので、皆さんにその判断をお願いしたい。

**問** 新規事業である水みちの連続性推進事業の実施箇所は。

令和2年度養老町立食肉事業センター特別会計予算

**問** 新食肉基幹市場の進捗状況は。

**答** 平成30年度と31年度は促進協議会が豚熱等の影響でほぼ動いていない。3月24日に関係首長、促進協議会幹事、県知事を集めた会合が開催される予定であるため、町としても歩調を合わせていきたい。

令和2年度養老町公共下水道事業特別会計予算

**問** 雨水ポンプ場建設工事の場所は。

**答** 高田橋から300mほど上流にある平安伸銅の前にポンプ施設を作るもの。

**答** 牧田川用水と石畑川の合流地点であるが、養老警察署の歩道橋の西のエリアになる。

**問** ふるさと養老観光宣伝費が縮小となった理由は。

**答** 養老サービスエリアの情報発信事業として3店舗出店したのが売り上げが伸びなかったこと、ガイド紙の無料のクーポン券の実績も上がつてこなかったため、来年度は実施せず、事業内容を検討することとした。

**問** 特産ブランド認証事業PR動画の内容は。

**答** 今年も特産ブランドを3品目追加したところであるが、古くなった動画の更新を岐阜放送にお願ひするものは。

令和2年度養老町介護保険事業特別会計予算

**問** 住宅改修費94万39000円の根拠は。

**答** 前年度実績をもとに、1件当たり20万円を上限として算出した。なお、今年度の実績予想は72件、昨年度の実績は54件である。

**問** キラリ脳活教室委託事業を自主運営に変更した理由は。

**答** これまで業者に頭と体の体操を委託していたが職員もノウハウを吸収しているため、新年度は地域にリーダーを作る方針に方向転換し、リーダーを集めての脳活教室を実施することとした。

**答** 町では三方山までの登山道を維持管理しているが、月1回点検し、簡易な補修や看板の付け替えなどを実施している。

**問** 河川の堤防除草に対する町の考え方は。

**答** 県や町としては可能な限り地元でお願いしたいと考えているが、各地区から高齢化により除草できないという要望があったため、県へ返還すれば、県で除草を行うこととなった。

**問** 常備消防維持管理運営事業の返還金が発生した理由は。

**答** 平成30年度予算を大垣市に請求する際、人件費及びそれに関する経費を定員64名で算出していたが、実際は60名であったため。

令和2年度養老町後期高齢者医療特別会計予算

**問** 保険料の改正内容は。

**答** 令和2年度は0・5割軽減されている方が7・75割軽減に、年金収入が80万円以下で令和元年度8割軽減されている方が7割軽減に変更となるが、軽減割合が圧縮された分、保険料は上がる。

令和2年度予算に関する総括質疑

**問** コンサルへの委託を減らす検討は。

**答** 予算審議において各種計画の策定をコンサルに委託する必要があるのかどうか慎重に審議し、職員で出来る部分は確実に減らしていきたい。